

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成19年7月10日（火）

と ころ：大垣女子短期大学

対話団体：大垣女子短期大学（学生14名）

対話テーマ：女子学生の視点からの大垣市活性化への提言



【対話内容】

【学生】

大垣市の中心市街地の商店街が利用しにくいので、名古屋のデパートのように、ある程度の金額以上の買い物をすると駐車料金が無料になるようなサービスが欲しいです。

【小川市長】

中心市街地の店で駐車場料金が無料（割引）になるサービスを実施している店もありますね。

中心市街地活性化は、どこの都市にとっても大きな課題となっています。

駐車料金を支払って、中心市街地の店に買い物に行く人は少ないのが現状ですね。

【学生】

歩道が狭くて歩くのが怖い道路がありますので、道路を拡幅して欲しいです。

【小川市長】

道路の拡幅には、市民の皆様の宅地や農地を譲っていただく必要があります。

農地であれば、協力いただきやすいですが、宅地の場合はなかなか難しいのが現状で、立ち退き交渉には時間がかかります。

【学生】

以前、近鉄養老線が廃線になるというような話がありましたが、是非とも残してもらいたいです。また、本数が少ないので、増えるとありがたいです。

【小川市長】

採算性を考えると、どうしても運行本数は減ってしまいます。

沿線自治体で利用促進に努めており、先日も、会議に行くのに近鉄養老線を利用しました。

鉄道の沿線に工場などが設置されれば、利用が増えるとは思いますが。

今後、少子化で高校生が減ると、利用者が減るかもしれないですね。

いずれにしても、通勤、通学やお年寄りの大切な交通機関なので、残していきたいと考えています。

【学生】

幼稚園、保育園の実習に行くと、民間は、クーラーやプールの温水シャワーなどの施設が充実していますが、公立は、扇風機も無いなど、施設整備が遅れています。

少子化対策を進めているのであれば、もっと施設を充実して欲しい。

【小川市長】

民間の方が施設だけでなくサービスが充実していると思うので、施設を民営化する流れがあります。

しかし、公立のほうが良いという親さんもあり、なかなか難しい課題です。

おそらく、民間のほうが学費が高いので、施設を充実できるのではないかと思います。大変勉強になりました。

【学生】

大学の周辺の道路に街灯が少なく、帰宅する際に恐いです。

【小川市長】

男性でも、夜の一人歩きは恐いですね。

女性にとっては、切実な問題ですね。

以前、大学の周辺で変質者がいるという話を聞いたことがあります。

近年、「さわやかみまもりEye」や「さわやかパトロール」の取組で、犯罪発生件数は減ってきてはいますが、更に減らしていきたいと思っています。

【学生】

父が休日に上石津町の山へ行っているのですが、林道整備が不十分だと言っていました。

【小川市長】

林道整備の話はいろいろな方から伺っていますが、林道は多くの方が利用する場所ではないので、費用対効果を考えるとなかなか進んでいないのが現状です。

【学生】

「水」と「緑」と「情報」をまちづくりのスローガンに掲げているようですが、「情報」の部分がなかなか見えてきません。

1 市民には「情報都市」としての恩恵はあまりないように思います。

【小川市長】

市内にはソフトピアジャパン、I AMAS等があり、ソフトウェア開発の拠点やデータセンター等が集中しており、情報関連産業の基地になっています。

古くから東西文化の交流点として発展してきた地域ですが、現在も、情報の交流点、通過点として重要な役割を担っています。

多くの光ファイバーケーブルが通っており、ブロードバンドの整備も進んでいると思います。

1 市民としては、恩恵を感じることは少ないかもしれないですね。

また、電子自治体のサービスの充実にも努めているところです。

【学生】

ソフトピアジャパンや情報工房のように素晴らしい施設がありますが、あまり知られていないように思います。もっとPRしてはどうか。

【小川市長】

ソフトピアジャパンには、さまざまな施設、メニューが入り込み、非常に幅広く取り扱っており、結果として焦点がボケてしまっているのかもしれないですね。

【学生】

少し移動しようと思ったときに、安く利用できるワンコインバスのような移動手段があればありがたいです。

【小川市長】

以前、ワンコインバスを試験的に実施したことがあります。

しかし、利用率が低くて、継続実施することができませんでした。

利用率の向上には、ルート設定が大切だと思いますが、多くの市民に利用していただけるルート設定は非常に難しいですね。